

ひびきあう教育を推進しています

～海老名の教育施策の紹介～

市教育委員会では、21世紀の教育理念を「ひびきあう教育」と定め、さまざまな教育施策を推進しています。今回は、主な推進事業や各学校の特色ある取り組みなど、市が進める教育施策について紹介します。

☎ 学校教育課(☎235・4918)

柏ケ谷中学校 花いっぱい運動

～心の安らぎと豊かな生活を願って～

柏ケ谷中学校では、生徒とPTAボランティアの方が、校内の花壇等に花を植える「花いっぱい運動」を行っています。これは、生徒の心の安らぎの確保を目的に、平成12年度からスタートしたもので、年々活動の輪が広がっています。

今年度からは新たに、生徒から募った環境委員約30人が加わり、「花いっぱい委員」である保護者と一緒に、心の安らぎと豊かな生活を願いながら熱心に作業しています。




杉久保小学校 杉の子わいわいフェスタ

～昔遊びや体験の場をプレゼント～

昨年で開校30周年を迎えた杉久保小学校では、昨年11月22日、「杉の子わいわいフェスタ」を開催しました。

これは、「児童に体験の場をプレゼントしよう」と、平成13年度に保護者・地域の方・教職員が主体となってスタートしたものです。今年度は、学区内の自治会・地域ボランティア・PTAなど、多くの団体・個人が設置したブース内で、子どもたちが昔遊びや各種体験などを楽しみました。

児童に地域の大人がかかわるだけでなく、準備や当日の活動を通じて、教職員を含めた地域の大人たちがお互いに知り合えることが、今後の学校教育活動にとって有意義なものとなっています。



地域と協働の取り組み

杉本小学校を 下校時の防犯パトロール


～子どもたちの安全確保を第一に～

杉本小学校では、平成17年から、学区内の自治会の方を中心に、下校時刻に防犯パトロールを実施しています。下校時刻には地域の方々各校門に集まり、児童と親しげに会話しながら、一緒に下校しています。

このようなパトロールによる児童の安全確保は、全小学校で実施しています(各学校で方法は異なります)。ご協力いただける方は、各学校にご連絡ください。

★市教育委員会では、児童生徒の安全を第一に考え、全小学校校門を中心に、安全監視員を配置するとともに、児童の下校時刻に合わせて青パト(青色回転灯を装備した車両)で市内通学路の巡視を行っています。

また、えびなメールサービスを利用した不審者情報等の提供も行っています。





教育施策の主な推進事業

小学5・6年生で 外国語活動を週1時間実施

平成21年度から、外国人英語講師9人を小学校に派遣し、小学5・6年生の授業で外国語(英語)活動を週1時間実施します。

これは、23年度に学習指導要領(文部科学省が学校の教科等のねらいや学習内容を示したものが改訂され、小学5・6年生の授業に外国語活動の時間が導入されることに伴い、同要領を2年先取りして実施するものです。

市では、これまで外国人英語講師を小・中学校に派遣し、英語教育に取り組んできました。昨年11月には、文部科学省指定の研究校である社家小学校で、授業研究会を行いました。また同校では、厚木基地内の現地校との交流も行っており、児童が外国の子どもと楽しく会話するなど、外国語を用いた積極的なコミュニケーションを図っています。


子どもと大人がかわり合い 美しいハーモニーを

海老名市教育委員会教育長 沖原次久

「ひびきあう教育」とは「人と人とのかわり合いの教育」です。「ひびきあう」とは、「コーラスに例えると、ソプラノ・アルト・テノール・バスとそれぞれのパートが、それぞれの役割を果たし、美しいハーモニーを奏するというイメージです。」

次代を担う子どもたちの教育のために、「子ども」「教員」「保護者」「地域の方々」または「家庭」「地域」「学校」「行政」がそれぞれの役割を十分に果たし、かわり合い合って美しいハーモニーを奏して、「ひびきあう」としてまいります。

海老名市では、県内でも自慢できる充実した教育施策を展開しています。今後とも、市民のみならずのご理解・ご協力をお願いします。

ようこそ学校へ!

～ひびきあう教育研究委託校の授業発表～

各学校では、保護者だけでなく地域の方々にも学校を参観してもらおうと、学校公開日を行っています。また3学期には、今年度の「ひびきあう教育研究発表会」(左記参照)の授業発表を行います。ぜひご参観ください。

1月28日(金) 海老名小学校
1月30日(日) 中新田小学校
2月13日(金) 大谷小学校

※公開時間は各学校により異なります。午後3時以降の希望の方は13時30分ごろ学校にお越しください。

※他の学校の公開日は、学校教育課へお問い合わせください。

お知らせ コーナー



教員養成土曜学校「ひびきあい塾」がスタート

～海老名の教員目指し71人が研修中～

今年度、政令市以外では県内初となる、教員養成土曜学校「ひびきあい塾」がスタートしました。これは、今後10年で本市の教職員の約半数が退職を迎え、人手不足が深刻化することから、市立小・中学校の教員を目指す人材の確保と育成を図るものです。

研修では、大学生・臨時教員・主婦・社会人など71人の受講生が、授業方法や子どもとのかかわり方などを学んでいます。学校現場での実践研修や、野外教育施設「富士ふれあいの森」での実習など、さまざまな内容で行われています。

今後は、海老名の教育の将来を担う人材育成のため、研修内容と実効性を高めながら継続していきます。

★21年度受講生の募集は、今年2月、本紙および市ホームページに掲載予定です。海老名の教員を目指す方をお待ちしています。



市内小・中学校の臨時任用職員・非常勤講師 募集しています

市内小・中学校の臨時的任用職員・非常勤講師など、臨時職員の登録を随時受け付けています。

▽資格 教員免許状(小学校教諭・中学校教諭・養護教諭のいずれか)を所有または今年3月までに取得見込みの方

勤務時間 一日6時間または8時間

※詳しくは学校教育課へお問い合わせください。

☎ 学校教育課へ

「教育委員会の点検・評価報告書」を作成

～事業の実施状況と方向性を明らかに～

市教育委員会では、第三次総合計画後期基本計画に位置付けた平成19年度施策・事業のうち、「ひびきあう教育」推進のため重点的に実施したものを対象に、点検・評価を行い、このほど教育委員会の点検・評価報告書」としてまとめました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(19年6月改正)」に基づき、20年4月から毎年、教育委員会の事務の執行状況を点検・評価して作成することになっています。

点検・評価は、事業の実施状況と今後の対応方向を明らかにするとともに、客観性を確保するため、教育関連の学識経験者から意見を聴取して行いました。内容は、①生涯学習の振興 ②学校教育の充実 ③学校・家庭・地域の連携 ④歴史的遺産・文化の保存と活用の4項目で構成されています。

※報告書は、市役所1階情報公開コーナーまたは市ホームページでご覧になれます。

☎ 教育総務課(☎235・4916)


「家庭教育学級」を開催

～子育ては親育て 豊かなひびきあいを求めて～

家庭・学校・地域との豊かなひびきあいを求めて、「子育ては親育て」をキーワードに、親が生き方を学ぶ場として「家庭教育学級」を開催しています。

これは、「家庭教育」が子どもの人格形成上で最も重要であることから、子どものしつけ、親のあり方など、家庭教育に関する基礎的な学習の場を保護者などに提供するものです。昨年度は、市内幼稚園8園と全小・中学校19校で、延べ3583人が参加しました。

今年度は、「幼稚園での家庭教育の充実」「中学校区での父親学級の開催」などを重点に取り組んでいます。



★生涯学習のマスコット「マナビィ」

一人一人のニーズに対応した「特別支援教育」の充実

現在、障がいのある児童生徒の学習の場として、「特別支援学級」を全小・中学校(小学校13校、中学校6校)に、また、ことばの遅れやコミュニケーションの苦手な児童のための「通級教室」を小学校4校に開設しています。

特別支援教育の充実を図るため、市独自で補助指導員14人、介助員23人、看護介助員3人を各学校に派遣しています。なお、教員資格を持つ補助指導員・看護資格を持つ看護介助員の派遣は、県内では海老名市が初めて導入したものです(補助指導員は平成6年から、看護介助員は16年から実施)。

また、児童生徒の就労を含めた個別支援計画を立て、医師などの専門家と連携した指導も行っています。

★青少年相談センターでは、障がいのある児童生徒の相談だけではなく、子ども心の成長にかかわる相談を受け付けています。心配や不安をお持ちの方はご相談ください(青少年相談センター☎234・8700)。

青少年会館 ゲーム&クラフト(工作)研修会

あそびっ子クラブや学童保育クラブ、地域の行事・集会などで活用できます。今年度は安全管理についても学びます。

▽日時 1月31日(日)、2月5日(日)、14日(日)9時～12時

▽会場 青少年会館

▽対象 定員 市内在住、在勤の16歳以上、あそびっ子クラブのメンバー、学童クラブ指導員、教職員、保育士、青少年指導員に携わる方

▽先着30人

▽内容 パーティクラフト、危険予知トレーニング、仲間作りのゲーム

▽参加費 無料

☎ 1月7日(日)25日(日)に電話または直接、青少年課(☎231・9787)へ


「海老名あそびっ子クラブ」全小学校に開設しています

全小学校(13校)に、学校の体育館や校庭を開放して遊び場を提供する「海老名あそびっ子クラブ」を開設しています。

これは、少子化・核家族化など子どもを取り巻く環境の変化や、児童の安全確保が課題となる中、学校が地域コミュニティの中心となって子どもの居場所を確保する必要性が高まったため、「放課後の居場所づくり」を目的に平成13年から設置したものです。保護者のみなさんも、児童たちの遊ぶ姿をぜひご覧ください。

また、21年度には、夏休み中の居場所づくりとなる「サマースクール事業」の実施を予定しており、現在、活動内容などを検討中です。

★あそびっ子パートナーとして児童と一緒に過ごしてくれる方を募集しています。保護者や地域のみならずのご協力をお願いします。



35人学級・少人数指導を実施


平成17年度から「35人学級」を実施し、今年度は小学校8校(1・2年生)、中学校3校(1年生)で行っています。

これは、国の基準の「40人学級(=児童生徒数が40人を超えると1学級増える基準)」を35人に替え、学級の児童生徒数を少なくすることで、一人一人の個性に応じた学習・生活指導を実施するものです。これにより、学力向上と、入学時の学校に適應する力を身に付けることができます。

また、全小・中学校で「少人数指導(※1)」と「チームティーチング(※2)」も実施し、児童生徒へのきめ細かな指導に努めています。このため、市教育委員会では、今年度11人の非常勤教員を配置しています。また、中学校には、「生徒指導支援のための非常勤教員」6人を配置しています。

(※1)少人数指導…国語・算数(数学)・英語などの教科で、学級を二分して、少人数で指導します。個々の意欲や学習タイプに応じた指導が可能のため、基礎学力の定着に効果があります

(※2)チームティーチング…1学級に教員2人を配置することで、全体指導の中で、児童生徒のつまづきに対応できます



学校環境の整備

～22年度までに 全小・中学校に空調設備を完備～

児童生徒が、安全・快適な環境で学校生活を送れるよう、学校環境の整備を進めています。

市内の全小・中学校校舎および体育館の耐震化工事は19年度までに終了し、現在は、20～22年度の3カ年計画で、空調設備の設置・トイレ改修を行っています。なお、全中学校の空調設備の設置は今年度すべて完了し、今後は、外壁塗装・体育館工事・校庭整備などを行う予定です。

このほか、学校環境衛生基準に基づき、室内空気・照度調査、アスベスト対策を実施し、児童生徒の健康面にも配慮した整備を行っています。

